

# させぼ 市議会だより

令和8年1月臨時会・3月定例会  
令和8年5月1日発行

No.440



花卉農業の高付加価値化（アスチルベ農園）

経済産業委員会



食の安全と施設更新（食肉市場）



公営競技の再投資による収益基盤強化（競輪場）

経済産業委員会は、市民生活や産業の実態を踏まえ、現地確認を通じて課題を把握し、委員会審査に臨んでいます。

## 1月臨時会・3月定例会のあらまし

～令和7年度一般会計補正予算（第7号）等を可決～

1月臨時会は、1月23日から26日までの4日間の日程で開催し、令和7年度補正予算4件を可決しました。

～令和8年度一般会計予算等を可決～

3月定例会は、2月26日から3月23日までの26日間の日程で開催し、3月4日には先議案件として、令和7年度補正予算12件、条例1件を可決しました。

また、3月4日、5日は各会派の代表質問（2日間・5名）、6日、9日は個人質問（2日間・13名）を行いました。

3月10日、11日、12日、16日、17日には各常任委員会を開催し、付託された議案等について審査を行いました。

最終日には、令和8年度当初予算18件、条例12件、その他の議案5件、議会関係議案2件を可決、請願1件を採択、人事案件3件に同意しました。

## 目次

1月臨時会・3月定例会のあらまし	...	P 1
議決結果、主な議案	...	P 2
委員会の審査から	...	P 4
代表質問	...	P 6
個人質問	...	P 8
議会の活動 ほか	...	P 12

# 議決結果

1月臨時会及び3月定例会の議決結果は次のとおりです。

## 全員が賛成した議案

### 1月臨時会

議案名	
令和7年度 補正予算	住宅事業特別会計（第2号）
	一般会計（第8号）

### 3月定例会

議案名	
令和7年度 補正予算 (先議案件)	住宅事業特別会計（第3号）
	国民健康保険事業特別会計（第3号）
	競輪事業特別会計（第2号）
	卸売市場事業特別会計（第2号）
	介護保険事業特別会計（第2号）
	交通船事業特別会計（第2号）
	後期高齢者医療事業特別会計（第2号）
	港湾整備事業特別会計（第3号）
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計（第2号）
	水道事業会計（第3号）
下水道事業会計（第2号）	
条例 (先議案件)	職員の給与に関する条例等の一部改正
令和8年度 予算	住宅事業特別会計
	競輪事業特別会計
	卸売市場事業特別会計
	地域交通体系整備事業特別会計
	土地取得事業特別会計
	交通船事業特別会計
	集落排水事業特別会計
	工業団地整備事業特別会計
	港湾整備事業特別会計
	臨海土地造成事業特別会計
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計
	病院資金貸付事業特別会計
	下水道事業会計

議案名	
条 例	地域防災計画に定める大規模工場等の用途及び規模の基準に関する条例制定
	行政手続条例の一部改正
	旅費条例の一部改正
	職員の給与に関する条例の一部改正
	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	市長等の退職手当に関する条例の一部改正
	職員定数条例の一部改正
	手数料条例の一部改正
	印鑑条例の一部改正
	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
市立小学校、中学校及び義務教育学校条例の一部改正	
一 般	包括外部監査契約締結
	事業契約（変更契約）締結 （中央公園整備及び管理運営事業）
	市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定
	地方独立行政法人佐世保市総合医療センター一定款の一部変更
請 願	地方独立行政法人北松中央病院第8期中期計画の認可
	市街化調整区域の廃止も含めた見直し及び運用基準の改善を求める請願
議会関係	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
	市議会会議条例の一部改正
人 事	固定資産評価審査委員会委員選任
	公平委員会委員選任
	人権擁護委員の候補者推薦

賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、－：棄権、△：一部棄権

議案名		会派名及び所属議員名	自民		市民		公明		市政		共産		若者		葉風		議決結果
			林 健二 本田ひろし 黒川 英朗 甲斐 義博 田山 藤丸 鶴 大地 角田隆一郎 山下こうだい	山口 裕二 さきやま信幸 大村のりか 田中 稔 松尾 裕幸 長野 孝道 市岡 博道	山下 隆良 松尾 俊哉 永田 秀人 柴山 賢一 小野原 茂 古家 勉 久野秀敏※1	佐藤 文子 新川 英之 宮島 武雄 大塚 克史	柴田 英樹 古賀 豪紀	小田 徳頭	諸國 まや	久保 葉人							
1月臨時会	令和7年度補正予算	一般会計(第7号)	○	△	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		水道事業会計(第2号)	○	△	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
3月定例会	令和7年度補正予算(先議案件)	一般会計(第9号)	○	△	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	令和8年度予算	一般会計	○	△	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
		国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		介護保険事業特別会計	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		後期高齢者医療事業特別会計	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		水道事業会計	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
条 例	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	

[賛 否] △：古家勉議員、永田秀人議員は棄権、他の4名は賛成

[会派名] 自民=自民党市民会議、市民=市民クラブ、公明=公明党、市政=市政会、共産=日本共産党、若者=若者議員を増やす会、葉風=葉風会

※1：久野秀敏議長は採決に加わりません。

[参 考] 今回議決した議案(議会関係及び請願以外)は、市長により提案がなされたものです。

主な議案

1月臨時会及び3月定例会で議決された主な議案の概要は、次のとおりです。

1月臨時会

令和7年度一般会計補正予算(第7号)

補正額 10億4,346万円の増額

(補正後の一般会計予算額) 1,346億1,812万円

《補正の主な内容》

【総務費】地域公共交通デジタル化等利便向上支援事業費など6,646万円の増額

【衛生費】水道事業会計出資金など2億1,464万円の増額

【農林水産業費】漁業用燃油助成事業費など1億929万円の増額

【商工費】中小企業経営向上事業費など9,841万円の増額

【土木費】地籍調査事業費など3億9,526万円の増額

【港湾費】港湾施設改良事業国直轄事業負担金など1億5,940万円の増額

3月定例会

令和8年度当初予算

会 計	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	前年度比(%)
一般会計	1,338億7,730万円	1,302億9,480万円	35億8,250万円	2.7
特別会計(15会計)	1,014億4,466万円	883億5,794万円	130億8,672万円	14.8
企業会計(2会計)	246億9,906万円	233億7,506万円	13億2,400万円	5.7
合 計	2,600億2,103万円	2,420億2,780万円	179億9,323万円	7.4

※ 表中における係数は四捨五入によっているので、合計・差引が一致していない場合があります。

# 委員会の審査から

3月定例会中に常任委員会（総務委員会、都市整備委員会、文教厚生委員会、経済産業委員会）が審査した議案の一部について、主な審査の概要をお知らせします。

総務

## 「俵ヶ浦半島マスタープラン」策定に係る経費を計上

所属委員：◎角田隆一郎、○古賀豪紀、小田徳顕、山口裕二、松尾裕幸、市岡博道、大塚克史、古家勉

議案名：令和8年度佐世保市一般会計予算

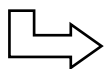
[内容] シティブランディング・プロジェクトである俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化に関し、官民連携による俵ヶ浦半島マスタープラン策定に係る経費として2,384万円を計上するもの。

### 委員会(質疑)

- ・ 選定されたパートナー事業者の他市での取組事例は、提案内容とは大きく異なるものですが、マスタープランの策定について、どのように考えているのですか。

### 市(答弁)

- ・ パートナー事業者は現在、国内6か所で地域おこしの取組を手がけられています。地域を元気にしたいという共通した理念の下、それぞれの地域の特性に応じたまちづくりを展開されています。マスタープランの策定においては、提案内容を参考としつつ、外部有識者やステークホルダー（影響を受ける利害関係者など）等も交えた議論の中で、方向性を定めていきたいと考えています。



委員会では全会一致で可決

文教  
厚生

## 学校問題解決支援コーディネーターの配置経費を計上

所属委員：◎佐藤文子、○甲斐義博、諸國まや、久保葉人、永田秀人、大村のりちか、長野孝道

議案名：令和8年度佐世保市一般会計予算

[内容] 学校だけでは解決が難しい事案等について直接相談を受けたり、事案の解決策を整理・提示するための学校問題解決支援コーディネーター(フルタイム会計年度任用職員)の配置に係る経費として572万円を計上するもの。

### 委員会(質疑)

- ・ 学校では対応ができなかった事案は、年間何件程度発生していますか。
- ・ どのような方をどこに、何名雇用するのですか。
- ・ 警察が介入した事案もあることから、人選は警察官経験者が適任ではないですか。

### 市(答弁)

- ・ 令和7年度の学校支援の対応件数は74件あり、そのうち、37件において警察が介入した事案となっています。
- ・ 教育委員会の学校教育部学校教育課内に、学校管理職経験者等を1名雇用します。
- ・ 人選に当たっては、経験等を要する業務であることを踏まえて、適任者を選定したいと考えています。



委員会では賛成多数で可決

都市  
整備

## 夜店公園整備に係る経費を計上

所属委員：◎松尾俊哉、○柴田英樹、  
新川英之、黒川英朗、田山藤丸、  
山下こうだい、柴山賢一、田中稔

議案名：令和8年度佐世保市一般会計予算

[内容]夜店公園の北街区の改修工事や中央街区及び南街区の実施設計業務委託などに係る経費として、1億1,234万円を計上するもの。

委員会(質疑)

- ・今回改修する北街区の人工芝の設置など、公園に滞在したくなるようなデザインは非常によいと思いますが、公園施設の維持管理はどのように検討していますか。
- ・この夜店公園の整備を生かして、まちなか全体の活性化を図るには、エリア全体で事業に取り組む意識の共有が重要だと思いますが、地域とはどのような連携体制を構築しているのですか。また、整備の効果や影響は、公園周辺の店舗等にも及ぶと思われませんが、そういった関係者の意見や提案も含まれていますか。

市(答弁)

- ・現在、シルバー人材センターと契約して毎日清掃を行うとともに、地域の公園愛護会にも月1回以上のごみ拾いをお願いしています。将来的には、住民や事業者の協力を得ながら、夜店公園の維持管理も含めた協力体制を構築していきたいと考えています。
- ・ワークショップには、高校生、大学生などの若い世代から、地元町内会、SASEBOまち元気協議会、させぼラボなどが参加されており、社会実験のイベントの際も周辺店舗には協力いただいています。また、今後の中央街区・南街区の実施設計においては、周辺店舗等の関係者の意見を聞く場面も検討していきます。



委員会では全会一致で可決

附帯決議

- ①中央街区及び南街区の整備計画については、可能な限り早期に概算事業費を示し、事業全体の総事業費の見通しを明らかにするとともに、人工芝などの施設は将来的な更新費用や維持管理費を十分見込んだ上で、維持管理計画を策定し、財政負担の適正な管理に努めること。
  - ②本事業の目的である中心市街地のにぎわい創出を実現するため、周辺商店街や地権者、関係団体等との連携を強化し、エリアマネジメントの体制づくりを推進すること。
  - ③今後の設計及び整備の状況については、現況が把握できる資料や写真などを活用した上で、おおむね半年に1回程度、定期的に委員会へ報告を行い、事業の透明性及び説明責任の確保を図ること。
  - ④本事業の推進に当たっては、整備費及び維持管理費の増減や事業効果などを踏まえ、必要に応じて事業規模の見直し、かつ人工芝の整備にこだわらず、事業手法の再構築など柔軟に持続可能な事業の運営に努めること。
- 上記の4項目について、その進捗状況を委員会に対しその都度報告すること。

経済  
産業

## 九十九島動植物園管理運営事業費を計上

所属委員：◎鶴大地、○山下隆良、  
本田ひろし、宮島武雄、さきやま信幸、  
林健二、小野原茂

議案名：令和8年度佐世保市一般会計予算

[内容]九十九島動植物園指定管理業務に係る委託料として、2億3,765万円を計上するもの。

委員会(質疑)

- ・九十九島動植物園の入園者数は減少傾向にあり、指定管理料は今後上昇すると予想される中、当該動植物園の今後の在り方をどのように考えているのですか。

市(答弁)

- ・九十九島動植物園は、昭和36年に開園し、64年が経過しています。現状の課題としては、施設の老朽化に加え、集客力の低下、運営コストの増加、飼育スタッフの不足があります。こうした現状を踏まえ、これまで位置づけていた俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化計画の枠組みから切り離れた形で、既存地でのリニューアル、さらに別のエリアへの移転など、今後の在り方を検討し、早期に方向性を固めたいと考えています。



委員会では全会一致で可決

# 代表質問



代表質問は、市政運営に当たり、本年度の予算や重要施策に対する市長の考え方（=施政方針）について質問するものです。令和8年3月定例会は、5人の議員が各会派を代表して質問しました。質問項目の一部を掲載していますが、代表質問の全体の模様は、市議会ホームページのインターネット中継（録画中継）でご覧になれます。

[ ] 内には、質問と答弁時間の合計を記載しています。

## シティブランディング・プロジェクトの推進について

自民党市民会議 はやし けんじ 林 健二 [90分]

**問** 「俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化計画」における「九十九島動植物園（森きらら）」との関係ですが、令和7年12月開催の全員協議会では、多くの議員から老朽化した森きららの方向性についての質疑があり、「森きららは俵ヶ浦半島への移転はせず、老朽化対応を早急に検討する」との答弁がありました。また、市民関係者アンケートにおいても、7割の方が改修を望んでいる事実もあります。俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化計画を推進されていますが、森きららの現状は時間だけが経過し、施設の老朽化対応は猶予がないため、改修について今後の関係性、方向性を伺います。

**答** 俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化の民間事業者の

提案は、半島への滞在を促す体験施設や宿泊施設を設け、関係人口を創出し、俵ヶ浦半島を持続可能な地域へ進化させていくものです。森きららの移転は、この提案には含まれていません。社会情勢の変化を受け、慎重に検討している間は、大規模改修が行えず老朽化が進行しており、改修等の猶予がないと認識しています。森きららの今後の在り方については、この計画と切り分け、自然観光公園化に係るマスタープラン策定と並行し、できる限り早期にその方向性を整理します。

その他の質問 ▼財政戦略と市民負担の公平性について▼第7次総合計画（後期基本計画）における重要施策について

## 環境政策（持続可能な循環型のまちづくりの推進）について

市民クラブ やました たかよし 山下 隆良 [90分]

**問** ごみの減量化を目的に導入した本市のごみ有料化制度は、市民の御理解と御協力により、これまで大きな成果を上げ、目的をほぼ達成できたと評価しています。しかし、近年は減量効果が横ばい傾向であり、制度の再検証が必要と考えますが、現在どのような視点を持って検討していますか。また、現在の最終処分場は令和16年度には埋立完了を迎える見込みであるため、次期処分場の整備について、建設予定地の選定や総事業費とその財源確保に向けた考えを伺います。

**答** 現行のごみ有料化制度による減量効果の横ばい傾向に加え、解消に至っていない制度の課題も見受けられることから再検証するため、現在、環境政策審議会

において、公平性の確保や家計への負担など多角的な視点から論点の整理を進めています。また、次期最終処分場の予定地としては、現処分場に隣接する市有地を活用し、15年を1期とした3期45年間分の埋立量を確保する計画です。総事業費（第1期）は約80億円が見込まれるため、国の交付金等を最大限活用することで、市財政への影響を最小限に抑えるよう努め、将来世代に過度な負担を先送りしない持続可能な循環型のまちづくりの推進に取り組んでいきます。

その他の質問 ▼市長1期目の取組について▼本市の経済政策について▼本市の財政運営（政策の推進と財政）について▼本市における学校教育の情報化推進について

## 第7次総合計画（後期基本計画）について

公明党 さとう ふみこ 佐藤 文子 [80分]

**問** 第7次総合計画においては、今後、財政の見通しが厳しい中でも新たな施策に取り組もうとされていますが、水道料金の値上げなども踏まえ、施策への投資と市民への負担のバランスや整合性をどのように取るのですか。また、課題も山積する中、どのように市民理解を図るのか、市長の考えを伺います。

**答** 佐世保を元気にしたいという思いの下、今の市民生活を守ること、10年後、20年後の未来の市民が夢を描ける土台をつくることという二つの命題をいかに両立させるかが市長としての使命だと認識しています。「あのときの決断があったから今の佐世保がある」と言われるよう、一定のリスクは覚悟の上で、攻めの投資

を継続する強い姿勢で臨みつつ、生活支援とのバランスにおいては、将来像との整合性などを様々な観点から総合的に判断するなど、総合計画に基づく効果的な市政運営に意を用います。車座集会での直接の対話を通じて得た市民の思いが検討の原点ともなりますが、投資や制度見直しの判断に際しては、その根拠を分かりやすく示すことで説明責任を全うしていきます。

その他の質問 ▼宮島市政における2年間のシティブランディング・プロジェクトの成果と令和8年度の取組について▼佐世保市保有の財産を次世代へ継承するための取組について▼長崎県及び西九州させぼ広域都市圏との連携について

**人口減少対策を含む市政運営の基本的な考え方について**

市政会 **しばた 柴田 英樹** [60分]

**問** 人口減少は本市が直面する最も根本的な構造課題です。課題の大きさと対策の中身は別の話であり、問われるのはその設計思想であると考えますが、市として人口減少の要因をどのように分析し、何を対象にどのような対策を行いますか。また、様々な課題が背景にある人口減少対策に臨むに当たり、部局横断的な連携や協力の仕組みは構築されているのですか。

**答** 人口減少には出生数減による自然減と転出超過による社会減があり、その背景には子育て環境や働く場、地域の魅力などが複合的に存在しています。本市は「選ばれるまちSASEBO」を目指し、子育て、産業、地域資源、文化を柱にしたシティブランディング

プロジェクトを推進しています。このプロジェクトでは、地域資源を磨き、市内外から住みたい、住み続けたいと思われるような選ばれる条件を増やすことで、結果的に定住促進につながるものと考えています。そのため、最終的な成果を出生数増加と転出抑制とし、適宜適切な指標設定と見える化を進めます。また、「こどもまんなか推進会議」と「次代のまちづくり推進会議」を設置することで部局横断的な連携を深め、情報共有と必要な調整により成果の向上を図っています。

**その他の質問** ▼令和8年度施政方針と予算編成における財政運営について▼施政方針に基づく政策の進め方について▼施策の評価及び改善の考え方について

**上下水道政策について**

葉風会 **くぼ 久保 葉人** [30分]

**問** 全国で水道施設の老朽化が社会問題となっています。本市も例外ではなく、水道施設の更新や維持管理のために、本年4月から段階的に水道料金が値上げされます。本市の水道施設の現状並びにこの値上げ率の算出根拠についてお尋ねします。

また、水道料金はできる限り安価であるべきで、今後、一般会計からの繰り出し等により料金を恒久的に減免する施策はあるのでしょうか。

**答** 本市は斜面地が多いという地形と市町合併の経緯から、水道施設は同規模の自治体の約4倍と非常に多く、水道管の長さは日本列島を縦断する規模です。このままでは20年後に約8割の水道管が耐用年数を迎

えます。人口減少により収益が減少する中、施設の統廃合等の効率化に努めますが、事業を継続するためには、今後10年間で約900億円の財源が必要となることから、27.5%の料金改定をするものです。改定後の料金は県内2番目、同規模の自治体では最も高い水準となります。水道料金の値上げ率を可能な限り抑えるために、一般会計の財政支援を受け、2年間は段階的な値上げとし、国の重点支援地方交付金の活用により、今年7月からは4か月間の基本料金の免除を行う予定ですが、水道料金の低廉化については、議員の御提案も含め、様々な方法を検討していきます。

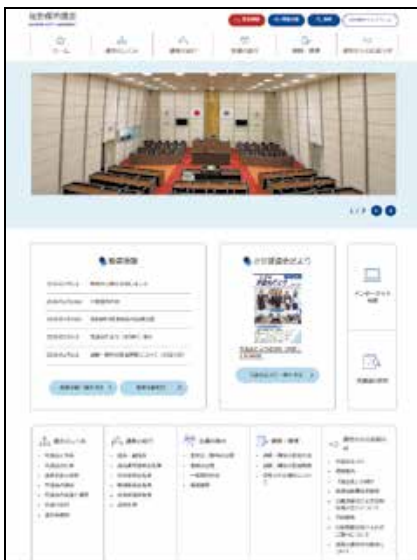
**その他の質問** ▼保健福祉政策について

**佐世保市議会ホームページがリニューアルしました**

令和8年3月から市ホームページのリニューアルに合わせ、市議会ホームページをリニューアルしています。スマートフォンでも見やすく、検索しやすい構成になりました。

市議会ホームページには、議会のしくみ、定例会の日程・一般質問の内容、市議会だより、会議録など、議会に関する様々な情報を、随時掲載しています。

また、本会議のインターネット中継（生中継・録画）も配信していますので、どうぞご覧ください。



市議会ホームページのトップ画面（PC版）



スマートフォン版のイメージ

調べたい内容を個別に検索することもできます。



# 個人質問



個人質問は、市が当面する諸問題について、質問や提言を行うものです。令和8年3月定例会は、13人の議員が行いました。質問項目の一部を掲載していますが、個人質問の全体の模様は、市議会ホームページのインターネット中継（録画中継）でご覧になれます。

[ ] 内には、質問と答弁時間の合計を記載しています。

## 大型事業の効果検証と新年度への反映について

自民党市民会議 ほんだ 本田 ひろし [60分]

**問** 令和7年度に実施した三つの大型事業（ながさきピース文化祭、ツール・ド・九州2025、西海国立公園指定70周年記念事業）のうち、予算規模で比較すると、70周年記念事業が極端に少なく、当該事業に関する市民への周知拡大や参加促進のための体制や予算配分が十分であったのか疑問が残ります。こうした状況下で、事業としてどのような成果があったものと総括していますか。また、次の80周年記念事業に向け、国・県を巻き込んだ体制をどのように構築していきますか。

を組み合わせた体験商品等、次年度以降の展開につなげるなど一定の成果を上げることができました。次回の指定80周年に向けては、これまでの成果を踏まえ、国・県との連携を強化し、早い段階から事業の方向性を共有しながら準備を進めていきます。本市としては、西海国立公園の自然や景観をより広く発信し、認知度を高めて多くの人に訪れてもらうことが重要と考えています。特に、九十九島を魅力的な観光拠点とし、訪れた人が滞在しやすい環境づくりを進めていきます。

**答** 今回の西海国立公園指定70周年記念事業では、様々な関係者の協力の下、西海国立公園の認知度向上や環境保全の意識を高める取組を行い、食とクルーズ

その他の質問 ▼3年間のマニフェスト達成状況と残り1年の重点施策について▼選挙事務効率化と投票機会確保に向けた見直しについて

## 本市のグランドデザインについて

自民党市民会議 たやま ふじまる 田山 藤丸 [50分]

**問** 本市に都市の躍動感や未来への期待感などをもたらしするためには、市民と未来像を共有し、民間事業者の投資を呼び込むことが不可欠であり、そのためには、グランドデザインとして都市の将来像、あるいは重点的に取り組む事業分野やエリアを明確に示すべきではないですか。また、市長が掲げる「挑戦する都市」の形成に向け、どのように取り組んでいくのですか。

きかどうかについては、改めて議論を深めていきたいと考えています。「挑戦する都市」とは、本気で挑戦する人や企業を支える都市と捉えており、行政としては、民間事業者と対話し、投資する上での障壁について行う「規制緩和」、必要な利益を上げられるよう、取り組もうとする事業に応じて支援等を行う「リスクの軽減」、地域に歓迎され、安心して投資できるようにするための「合意形成」といった要素に取り組むべきであると考えています。全部局が地域や民間事業者との共創を意識し、連携・協力しながら業務に取り組むとともに、大胆な意思決定が必要な場面においてはちゅうちょなく政策判断を行っていきます。

**答** 本市には多種多様な魅力が各所に点在しており、それが特徴とも言えるため、多様なエリアでの取組により総合的に都市全体の価値向上につなげていく考えです。総合計画等において本市の将来像や都市構造を示していますが、さらにグランドデザインを策定すべ

## 不適切な野良猫への餌やりで環境悪化を防ぐ条例について

自民党市民会議 すみだ りゅういちろう 角田 隆一郎 [40分]

**問** 不適正な動物の取扱いに起因して人に迷惑を及ぼすことを防止することで、生活環境の保全を図り、善良な罪のない市民が、身勝手に無責任な他人の行為により、我慢を強いられ、かつ生活が脅かされ、日々ストレスを感じ、笑顔が少ない生活を送られている現状は打破すべきです。最近、野良猫への不適切な餌やりによる野良猫のふん尿被害を受けておられる市民の声を耳にします。そこで、京都市のように、不適切な野良猫への餌やりを過料つき罰則をもって禁止し、本市が住みよい選ばれるまちになるよう抑止力のある条例を制定する考えはないでしょうか。

管理に関する条例は、飼い主のいない猫への餌やりのルールを定める目的で制定され、罰則規定は設けていません。一方、動物の愛護及び管理に関する法律では、動物への不適切な餌やりは周辺住民の方々に迷惑をかける行為として、勧告、命令の措置、また50万円以下の罰金に処され、前科がつくという罰則が科される場合もあることから、餌やりのルールの指導や地域猫活動による不妊化事業の推進と併せ、法の厳しい規定も周知しながら、抑止を図っていきます。また、教育や広報活動を通じて、正しい動物愛護の意識の普及啓発に努め、飼い主のいない猫等による環境被害を解消し、住みよい選ばれるまちとなるよう取り組んでいきます。

**答** 令和5年4月に施行された長崎県動物の愛護及び

長崎国際大学への支援について

若者議員を増やす会

もろくに  
諸國

まや [30分]

**問** 長崎国際大学は、佐世保市内に新たに「情報学部」を設置予定です。本市はこれを「人口減少対策・産業振興」と位置づけ、3年間で総額10億円(全額税金)を支援する予定です。この10億円の債務負担行為は、大変残念ながら昨年12月定例会で可決されました。支援額は、令和8年度3億1,590万円、9年度4億4,690万円、10年度2億3,720万円です。支援に伴い交わされる覚書(案)には10億円を限度とすると記載がある一方、「※産学官連携に係る取組はこの限りではない」と注意書きがあり、例えば、研究費など別名目で10億円以外にも追加支援が行われることはないですか。

**答** 長崎国際大学の理工系学部設置に伴い、大学側と

市の支援に関し必要な事項を双方で確認する覚書を準備しています。その中では、研究費の助成を含め、追加で支援することはないとの文言を明記することとしています。指摘された「産学官連携に係る取組についてはこの限りでない」という文言ですが、今後、新学部が設置され産学官の連携における拠点機能などの構築が進捗されることも想定する中で、参考に記載しているものであり、現時点で大学への具体的な委託や補助金の支出は想定していません。3か年に分けて支援する総額10億円を限度とし、理工系学部を契機とした人材の市内定着の促進と産業振興等を期待しています。

その他の質問 ▼小学校給食費無償化について

「日本一自衛隊を応援するまち」の具体策等について

自民党市民会議

かい よしひろ  
甲斐 義博

[50分]

**問** 市長は「日本一自衛隊を応援するまち」という言葉にふさわしい実体を伴わせることが市長の責務と発言されました。そこで、その具体策として、例えば、4月26日の海上自衛隊の日や11月1日の自衛隊記念日に合わせて、自衛隊に感謝する週間を創設する、食育推進の目的で自衛隊カレーを素材にした学校給食での取組、電灯艦飾実施日に軍港ナイトクルーズを運行するといったことを計画・検討できませんか。

**答** 自衛隊カレーについては、本市の歴史的背景や地域の特色を学ぶ食育のきっかけの一つとして、今後、学校給食の取組について研究を進めていきたいと考えています。SASEBO軍港クルーズについては、一

昨年から新たに特別便として夕暮れクルーズを運行しており、大変好評を得ています。ナイトクルーズ等については、安全対策等の課題もあると思いますので、関係団体等の意見を伺い研究を進めていきます。今年度末に策定予定の基地経済ビジョンでは、上記のほか自衛隊応援週間の創設検討などを、「自衛隊を応援するまちづくり」推進の取組としてしっかりと明示し、着実な推進につなげていきます。また、本市には民間による自衛隊の支援組織・団体が数多くあることから、まずは関係団体の皆様が一堂に会し、その方策について議論する意見交換の場を早期に設けます。

その他の質問 ▼シェルターの確保について

第8次総合計画の策定に向けた戦略について

自民党市民会議

つる たいち  
鶴 大地

[60分]

**問** 令和10年度からの総合計画は、人口減少と自治体間の競争が激化する中、行政の人材や予算など限られた資源をどこに重点配分するのかを明確にした、まちの経営戦略であるべきです。その上で、戦略的な組織・機構の在り方や成果管理の方針、成果が出ない事業は、状況に応じて見直すルールを計画に明記する必要があります。また、本市の若者流出の大きな要因の一つは、地場産業の収益力を高め、より付加価値の高い仕事を生み出す取組が不十分なことと考えます。防衛・造船・観光・水産など本市の基幹産業を今後どのように発展させ、産業振興の妨げとなる可能性のある都市計画の見直しをどう考えるのか、市の見解を伺います。

**答** 総合計画においては、施策ごとの成果目標の達成状況を確認しながら、PDCAサイクルの強化により、成果が上がらない事業の廃止を含めた改善や見直しにつなげる仕組みを一層徹底します。また、本市経済の持続的成長を実現するため、防衛・造船等のものづくり産業の高付加価値化に向け、受注拡大や設備投資、技術高度化、域内企業間連携、新たな防衛関連産業の誘致を進めます。さらに、観光の戦略的マーケティングや地域資源の磨き上げ等により観光の稼ぐ力を高め、水産業を成長産業として位置づけた取組を進めるとともに、都市計画が重点政策実現の阻害要因となる場合には、制度の見直しや新たな制度設計を行います。

人口減少(流出)への対策について

公明党

おおつか かつし  
大塚 克史

[40分]

**問** 人口減少問題は本市の最重要課題です。とりわけ若年層の流出は地域活力の減退のみならず、将来の税収やコミュニティの維持など多方面に深刻な影を落とします。全国では地方企業による副業人材の活用が広がっており、副業・兼業という働き方が近い将来のスタンダードとなって、若者の流出抑制対策にもつながるのではないかと考えますが、本市の考えを伺います。

**答** 若者流出の理由は進学や就職先の多様性など様々な要因が挙げられますが、本市の魅力創出に焦点を絞った「佐世保グロース」事業を令和8年度予算で提案しています。これは主に首都圏にあるようなグローバル企業等のプロフェッショナル人材を招聘し、本市

の企業の経営支援に入ってもらい、本市の大学生が一緒に参画できる環境を提供するものです。これにより都会でも得難いような貴重な体験を地元で得ることができ、企業への愛着が湧くことで地元に残る選択肢も出てくると考えられます。また、経営支援が成功すれば本市企業の業績向上のほか、企業への人材供給、副業の浸透による首都圏等から地方への経済資源の移転、活性化、人材の流入へとつながる好循環の可能性も有することから、市内大学等と協力し、企業の皆様には積極的に活用してもらいたいと考えています。

その他の質問 ▼佐世保市と畜場の運営における現状と課題について

### 島瀬美術センターの収蔵品の活用について

おのほら 小野原 しのぶ 茂 [40分]  
市民クラブ

**問** 島瀬美術センターの収蔵庫には、佐世保市の歴史があふれ出さんばかりに詰まった収蔵品が、約4,000件保管してあり、これらの収蔵品に関しては、どのように企画展示をしていけばよいのか整理がなされていない状況であると思います。収蔵品を市民に披露することが島瀬美術センターの責務であると思いますが、現在、取り組まれているデジタルアーカイブ化などの新たな技術を使って、大型モニターの設置等による収蔵庫蔵出し案内などの取組ができませんか。

**答** 現在、収蔵品をデジタル保存し、インターネット等を通じて公開できるデジタルアーカイブ化に取り組んでおり、令和2年度に全ての収蔵品について、現品

と紙の台帳との照合を行い、その保存状態や細部の特徴を精査した上で、画像データと共にデジタル管理システムへ登録を行いました。これにより、外部への貸出し状況、修復歴などもデータで管理できるようになり、本市の多種多様な収蔵品を一元的に把握できるようになりました。このように、現在はデジタルアーカイブによる画像データも充実しているため、収蔵品を視覚的に発信できる環境は整っていることから、「優れた芸術作品との出会いの場」を目的として、今後、市民の皆様が、来館時にモニターを通じ収蔵品の魅力に触れられるよう、モニターを用いた収蔵品の展示案内について、指定管理者と協議を行ってまいります。

### 課題が山積している上下水道について問う。

たなか みのる 田中 稔 [40分]  
自民党市民会議

**問** 本市の上水道料金は今年4月から値上げされます。上水道と同じ収益構造の下水道事業も、人口減少で財源が目減りする中で、下水道の普及・拡張の整備と並行して老朽化施設の更新を行わねばならず、下水道料金の値上げも迫っているのではないかと懸念します。本市下水道事業の現状と今後の対応について伺います。

**答** 本市下水道事業は黒字経営が続いていましたが、令和8年度は赤字予算として提案しています。施設の老朽化による経費の増大と人口減少による収益の減少が大きな課題です。特に下水道は、市街化区域に整備を進めているため、人口減少のほか、中心部から周辺部への市内移転によっても収益が失われる影響を受け

ています。また、現在も下水道拡張整備を続け、毎年新規に下水道接続地域が増えていますが、既に整備している地域での人口減少が大きく、普及の拡大に対して収益が伸びない状況が続いていることも今回の赤字予算につながっていると考えています。料金への転嫁は常に最後の手段と考えており、まずは収支バランスの改善を図ることから検討を行うべきと認識しています。したがって、一般会計との役割分担を含め、施設整備計画等について投資の削減余地がないか、ウォーターPPP等の官民連携による効率化などつまびらかに速やかに分析を行う必要があると考えており、一定の方向性が見えた時点で改めて報告したいと思います。

### 佐世保市スポーツ施設再編計画(案)について

やました 山下 こうだい [40分]  
自民党市民会議

**問** 令和5年9月定例会の一般質問において、「東部スポーツ広場のグラウンドの人工芝化に向け協議し、令和6年度内に工事の着手を目指す」旨の答弁がありました。いまだ整備されていない状況です。その整備に向けてのロードマップと供用開始の時期はどうなっていますか。また、その整備に合わせ、近隣の長崎国際大学の人工芝グラウンドを利用させていただき、一体的に運用することで、大規模な大会や合宿の誘致が可能になると思いますが、当局の見解を伺います。

**答** 現在策定を進めている本市スポーツ施設再編計画において、同施設を単独で改修するのではなく、他の主要なスポーツ施設との役割の違いや機能を整理し、

持続可能なスポーツ環境を構築する必要があると考え、そのポテンシャルを最大限に引き出す整備を行うべきと判断し、計画を練り直すための時間を要しました。現在の天然芝グラウンドの状況を鑑み、年間を通じて高い稼働率が見込める人工芝の導入が最適であると考えており、その実現に向け令和8年度から具体的な一歩を踏み出すこととしています。また、大学施設は学生の学業や活動に支障を来さないよう運営方法に十分配慮する必要がありますが、長崎国際大学と具体的な施設連携、地域や社会体育との連携を含めた幅広い取組について、協議の場を設け検討を進めてまいります。

その他の質問 ▼ I R誘致計画について

### 加齢性難聴者への補聴器購入の助成について

おだ のりあき 小田 徳頭 [30分]  
日本共産党

**問** 市の要介護認定者は約1万人に上り、その6割に認知症の症状が見られることから、今後も認知症高齢者の増加が予想されます。特に難聴は認知症の最も大きなリスク要因の一つと言われており、認知症リスクの低減のためには、加齢性難聴の早期発見・早期治療の体制整備や、補聴器の装用が有効な手段であると考えますが、市として、高齢者の補聴器の装用によるリスク低減の効果をどのように考えていますか。あわせて、補聴器購入の助成について市の見解を伺います。

**答** 本市としては、QOLや認知機能の低下抑制に加え介護予防や生活の質を維持するためには、難聴の早期発見と適切な介入が必要であると考えていますが、

加齢性難聴は本人や家族が気づかないうちに進行することが多く、適切な受診や支援につながりにくいという課題も抱えていることから、早期発見の取組を推進するため、佐世保市耳鼻科会と密接な連携を図り、普及啓発活動をさらに強化します。また、補聴器装用によるリスク低減の効果と補聴器購入の助成制度については、難聴がコミュニケーション障がいや孤立を招き、認知機能低下やフレイルにつながることから、まずは効果等の情報収集を行い、佐世保市耳鼻科会との連携や実態把握に努めながら、国が示す方針に沿って、迅速かつ的確に対応策を講じていきたいと考えています。

その他の質問 ▼ 地球温暖化対策について

土木技術職員の確保について

市民クラブ 高が つとむ 勉 [50分]

**問** 国の資料によれば、全国的に地方自治体の土木部門の職員数は30年間で3割程度減少しており、技術職員の確保が極めて困難な状況になっています。本市においても土木技術職の採用に苦慮しており、本市を選んでくれる人材を確保することが難しくなっていると聞き及んでいます。本市が土木技術職の採用に向けて、これまでどのような工夫を行ってきたのか、また、新たな採用方法やインセンティブ制度の導入について、当局の考えを伺います。

**答** 土木技術職確保のための取組として、試験回数を増やす受験機会の拡大や、社会人経験者を対象としたUJIターン枠の住所要件の撤廃、面接試験の回数を

減らし、合否通知を早く行うなど、受験しやすい環境を整えるとともに、受験者の精神的、経済的な負担の軽減を図っています。また、新たな取組として、令和8年度から、学生等に対し、本市の土木技術職の業務内容の周知や魅力発信を図るため、本市の職員が活躍する姿を動画で採用サイトに掲載する取組を実施します。インセンティブ制度としては、給与面において国等との均衡が求められる地方公務員法上、難しい面もありますが、他自治体における奨学金の返済支援や資格取得の助成など、先行事例を十分に研究し、独自の取組を検討していく必要があると考えています。

その他の質問 ▼基地問題について

佐世保市DX戦略の現状と課題について

市民クラブ ながた ひでと 永田 秀人 [30分]

**問** 市役所のDX戦略の取組によりデジタル技術の活用を進める中で、費用面や時間面で効果が上がっていると聞いています。

また、他の自治体ではデジタル技術を活用した結果、市役所への来庁者が減少したことから、窓口の受付時間を短縮するところも増えています。県内では受付開始を15分遅らせ、終了を30分繰り上げた例があり、県外では合計90分短縮した例もあります。

現在のデジタル化の進捗状況を考えると、本市でも窓口の受付時間の短縮について取り組むべき時期に来ていると感じていますが、市の見解を伺います。

**答** 窓口の受付時間短縮を先行して実施している事例

を見ると、新たな負担軽減策の実行などと合わせて行われているケースが多いことから、本市としても「書かない窓口システム」の導入に合わせた実施に向けて、検討を進めています。

しかしながら、窓口受付時間の短縮は職員が働きやすい環境となる一方で、来庁される方にとっては、行政サービスの制限につながる側面もあります。

業務時間外でも申請等の手続が可能な「オンライン申請」の活用や充実、申請書等の記入が不要となる「書かない窓口」システムの導入など、窓口の利便性向上と合わせて実施検討を進め、市民の方から理解される仕組みとなるよう取り組んでいきます。

議員定数の削減（33人から29人に）  
次期市議会議員一般選挙から適用

議案名：佐世保市議会会議条例の一部改正の件

【条例改正の経緯】

地方自治法の定めにより、議員の定数は条例において定めることとされています。

佐世保市議会においては、令和5年の選挙以降、課題検討会及び議会運営委員会において、現状の分析、定数の検証など様々な議論が交わされました。

この議論により令和8年3月定例会において、議員定数を現在の33人から4人削減する、佐世保市議会会議条例の一部改正案が議会運営委員長発議により提案され、全会一致で可決しました。この条例改正により、次の一般選挙から佐世保市議会議員の定数は「29人」となります。

## 議会の活動

※12月定例会の終了後、3月定例会開会までの常任委員会等の活動を掲載しています。

### ▼1月

- 9日 経済産業委員会協議会[佐世保市ふるさと納税推進体制の強化について]
- 13日～14日 経済産業委員会行政視察[京都市:宿泊税の使途の明確化について/広島市:競輪を核としたまちづくりについて]
- 19日 議会運営委員会[1月臨時会について/その他]
- 21日 総務委員会協議会[行革推進プラン後期アクションプランの見直しについて/定員の見直し計画について(令和7年度更新版)/佐世保市中期財政計画(令和8年度～12年度)について/佐世保市公共施設適正配置・保全第3期実施計画の策定について/消防団員の懲戒処分について]
- 基地政策特別委員会[佐世保市基地経済ビジョン(仮称)素案の進捗状況について]
- 26日 文教厚生委員会協議会[佐世保市スポーツ施設再編計画(案)について]
- 経済産業委員会協議会[佐世保市基地経済ビジョン(仮称)の進捗状況について]

### ▼2月

- 9日～10日 文教厚生委員会行政視察[総社市:障がい者千五百人雇用事業について/一般社団法人障がい者によるSDGs:障がい者によるSDGsプロジェクトについて]
- 11日～13日 総務委員会行政視察[呉市:特別交付税の交付に係る取組について/株式会社丸亀企画:株式会社丸亀企画によるまちづくりの取組について]
- 12日 文教厚生委員会協議会[敬老特別乗車証(敬老パス)の見直しについて]
- 19日 議会運営委員会[3月定例会の付議予定事件について/3月定例会会期日程について/その他]
- 20日 経済産業委員会協議会[ハウステンボス株式会社との経営方針及び地域連携に関する意見交換]

## 人事案件

3月定例会では、人事に関する案件3件が提出され、議会としては同意しました。

- 佐世保市固定資産評価審査委員会委員選任の件 大島 雅幸 氏
- 佐世保市公平委員会委員選任の件 渡辺 恵美 氏
- 人権擁護委員の候補者推薦の件 豊田 裕子 氏

## 陳情

3月定例会には、陳情4件が提出され、議会運営委員会にて取扱いを協議の上、所管の委員会に送付しました。

- ・都市整備委員会：3件
- ・文教厚生委員会：1件

スマホ・タブレット用  
二次元コード

なお、提出された陳情名については、佐世保市議会ホームページに掲載しております。  
※スマートフォンなどでは、二次元コードからもアクセスできます。



## 請願・陳情についてのお知らせ

令和8年6月定例会で取り扱う **請願・陳情の提出期限は、6月2日(火)午後5時15分までを予定しています。**  
提出予定の方は、お早めに議会事務局にお問合せください。

令和7年度の個人情報保護条例施行実績

▼市議会個人情報保護条例に基づく個人情報開示請求等は、ありませんでした。

編集と発行 佐世保市議会事務局議会運営課議事調査係 〒857-8585 佐世保市八幡町1番10号  
TEL:0956(24)1111(代表) 内線2305～2309 FAX:0956(25)9674  
<https://www.city.sasebo.lg.jp/gikai/gikai/index.html>

6月定例会の開会は、6月中旬の予定です